



では市の伝統芸能である『綱火』を披露しています。

それから、スポーツフェスティバル、ニユーススポーツを皆に広めたり、あるいは、いろんなスポーツに参加していただいたり、最近では相撲部屋ができましたので、関取の方に来ていただいて、小さい子どもたちと相撲などをしていただいています。その他に、市民ウォークデイなども実施しています。

人の方の参加を得て、実施をしています。参加者には、乗場された方のために、生花や茶道などを体験できるコーナーや、彫刻の実演発表などの場を設けていただいています。

このほか、『みらいフェスタ』

市における環境問題への取り組みについて



きりまき
森麻紀
議員
(伊奈東中 3年)

【質問】
私は、市が環境問題についてどう考えているのか、また、環境に対する取り組みなどについて伺いたいと思います。

私は、現在の環境は非常に深

刻であると思っています。一昨年の日本の二酸化炭素の排出量は、2008年と比べると減少してはいませんが、それでも約100万トンも排出しているそうです。これを知って私は、環境問題が他人事でないと感じて実感し、自分たちでできることはなんだろう、と考えてみました。そこで考えついたのが「グリーンカーテン」の設置です。

グリーンカーテンは室内温度を2度下げることがあるそうです。また、太陽の光を受けて光合成を行い、二酸化炭素を吸収し、酸素を吐き出してくれます。このような効果のあるグリーンカーテンは実に有効的だと思います。本校でも校長室前や3年生の教室前に設置されました。私は、少しずつたくさんの方にグリーンカーテンの設置を義務づけていくべきだと考えています。市ではどう考えているのかお聞かせ下さい。

【市長答弁】

市では、市全体の環境に関する取り組みを網羅した「環境基本計画」と、事業所としての市が取り組むべきことを定めた「地球温暖化対策実行計画」の2つの計画書を策定しています。

このうち、「地球温暖化対策実行計画」では、電気やガソリンなどの燃料の使用量を減らし、二酸化炭素の排出量を削減するため、具体的には次のような取り組みをしています。

一つ目に、支障のない範囲で、朝8時半前と昼休み時に通路・階段などの消灯による節電。二つ目としてクールビズ、ウォームビズを取り入れた控えめな冷暖房温度の設定。三つ目に、配布物の両面印刷。四つ目に、公用車出張の相乗りや、職員が自転車などで出勤

するノーマイカーデーの実施。五つ目として、ごみの減量、資源化の促進などです。

また、この取り組みと同時に、小絹中学校を始めとし、市内5つの小・中学校および小絹水処理センターに、太陽光発電施設を設置するとともに、市の公用車には、「低公害車」いわゆるハイブリットカーを導入し、さらなる二酸化炭素排出量の削減を目指しています。

さらに、伊奈庁舎の一部と、谷和原庁舎の南側などに、木森議員が言われたゴーヤによるグリーンカーテンを施しており、

歩道や遊歩道の整備について



なかやま
中山 翔也
議員
(伊奈中 3年)

【質問】
つくばみらい市の道路状況は他の自治体に比べ、歩道の整備率が低く感じました。

自分も道路を走っていると、いきなり歩道がなくなり、とても危険に感じ、早期に歩道を整備してもらいたいと思いました。また、高齢者や幼児、小学生

事業所としての市と市職員は、皆さまの模範となれるよう努めています。

木森議員の学校でも行なっているように、グリーンカーテンは誰でも簡単に取り組むことができる温暖化防止対策であると考えています。

現在のところ設置の義務づけは考えておりませんが、グリーンカーテン設置により節電および二酸化炭素排出量の削減につながりますので、市としても、今後、広報紙などでお知らせするなど、普及拡大に努めてまいりたいと考えています。

も増加してきて安全に生活、登下校するのに歩道は必要不可欠ではないでしょうか。

最近みらい平付近は、開発が進み同時に歩道、遊歩道の整備も進んでいるようですが、他の地域でもなるべく危険箇所を減らすよう整備を進めてもらいたいです。自分が使用する範囲ですが、特に危険と感じる箇所をピックアップしました。

次に、遊歩道の整備ですが、遊歩道を整備すると歩車分離により市民、高齢者の安全や健康促進につながると思います。